

文部科学省委託 令和6年度新時代の教育のための国際協働プログラム

初等中等教職員国際交流事業

中国政府日本教職員招へいプログラム (中国派遣プログラム)

[2024年11月15日(金)、11月24日(日) - 11月30日(土)、12月13日(金)：中国／北京市、西安市]

募 集 要 項

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）は、ユネスコの基本理念に基づき、相互理解の促進と持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。その活動の一つとして、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う子どもたちを育む「教職員」を対象とした国際交流事業を日本政府の協力のもと2001年から開始し、これまでに日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、4,400人を超える海外教職員を日本へ招へいし、また日本からは1,200人以上の教職員を海外に派遣してきました。その結果、教職員の学びが数多くの生徒・教職員・地域住民に還元されるほか、当事業をきっかけに多くの学校間の国際交流が生まれ、各国間の相互理解と友好の促進に貢献してきました。

日本と中国との間の国際交流事業としては、2002年に中国から初等中等教育教職員を招へいしたことを皮切りに、2003年からはさらなる交流を促進するため、日本の初等中等教育教職員が中国を訪問するプログラムを実施してきました。これにより、2024年9月までに、併せて2,200人以上の日中教職員が双方の国より派遣され、コロナ禍ではオンラインによる交流を行って参りました。2024年度は中国教育部の協力のもと、文部科学省委託「初等中等教職員国際交流事業」の一環として、25名程度の教職員が下記の要項に基づき中国を訪問します。本事業は、「『あたらしい』学び」や「新時代に求められる教職員像」をテーマに実施され、「異文化を通して学ぶ」・「『出会い』から学ぶ」というふたつの「学び」を通して、これからの学びの在り方を問い直し、協創するヒントをつかむ機会を提供します。

2. 目的

- ・中国の教育事情に関する知識を得て中国に対する理解を深めること
- ・学校間の連携のため、日中教職員間のネットワークを構築すること
- ・日中教職員間で参加者がそれぞれの考えや教育実践を共有し、対話する機会を提供すること

3. 活動内容

- (1) 学校等の教育機関の訪問
- (2) 中国の教職員及び児童生徒との教育現場での交流・意見交換
- (3) 教育・文化施設の視察
- (4) 現地滞在前後のオンラインオリエンテーションやリフレクション

4. 日程（暫定）

オリエンテーション①：2024年11月15日（金）

オリエンテーション②：2024年11月24日（日）

中国滞在：2024年11月25日（月）～11月30日（土）[6日間]

フォローアップミーティング：2024年12月13日（金）

日付		場所	活動
11月15日（金）	17:00-19:00	オンライン	オリエンテーション① （中国の教育事情についての講義を含む）
11月24日（日）	午後	羽田空港周辺	オリエンテーション②
11月25日（月）	第1日目	北京市／西安市	羽田出発、北京到着
11月26日（火）	第2日目	北京市／西安市	教育機関・教育文化施設訪問
11月27日（水）	第3日目	北京市／西安市	教育機関・教育文化施設訪問
11月28日（木）	第4日目	北京市／西安市	教育機関・教育文化施設訪問
11月29日（金）	第5日目	北京市／西安市	教育機関・教育文化施設訪問
11月30日（土）	第6日目	北京市	北京出発、日本到着（羽田）
12月13日（金）	17:00-19:00	オンライン	フォローアップミーティング

注1：プログラムスケジュール（オンライン含む）・訪問先・活動内容については変更の可能性あり。スケジュールの確定は出国約1週間前になる可能性もある。

注2：復路の羽田空港は変更の可能性あり。

5. 参加者

下記の教職員、随行員の計25名程度の参加とする。

- ・公募により選抜された、自治体または学校の教職員23名程度
- ・文部科学省、ACCUの職員各1名

6. 申請資格

- (1) 日本国籍を有すること。
- (2) 応募時にパスポートを所有していること。（入国時に6ヶ月以上有効なパスポートであること。）
- (3) 所属する教育長・学校長等から推薦を受けた、初等中等教育教職員（教育行政職員を含む）であること。（団長についてはこの限りではない）
- (4) 健康で、オンラインを含めたプログラムの全日程に参加が可能であること。
- (5) プログラム期間中の意見交換や文化交流活動に積極的に参加できること。
- (6) プログラム期間中の学びや知見を帰国後に児童生徒や学校、地域に伝える役割を担えること。
- (7) 将来にわたり中国との教育交流の推進に寄与できること。特に、中国との学校・教員・児童生徒・地域間の交流、または定期的な情報交換等を推進する立場にある者が望ましい。
- (8) 団体行動の規律を守り、主体性を持って積極的にプログラムに参加できること。
- (9) 習慣や文化の異なる国との交流であることを理解し、突然の変更などにも柔軟に対応できること。
- (10) EメールやWeChatを用いて円滑に連絡ができ、またMicrosoft Word/Excel/PowerPointを用いて所定フォーマットに必要な情報を入力し提出できること。
- (11) オンライン交流に必要なPCや通信環境を準備し、活用できること。
- (12) 出発前オリエンテーション（日本国内）から中国の現地、日本帰国に至るまで、参加者負担

- によるポケット Wi-Fi や SIM カード、e-SIM 等により、携帯電話やスマートフォンなどの通信環境を整え、E メールや WeChat 等で常に連絡が取り合える状況でいられること（通話を含む）。
- (13) 主催者や実施運営団体の指定する報告書やアクションプランなどを提出できること。

7. 評価と報告

参加者は帰国後、所定の様式により ACCU に報告書等を提出する。報告書等の内容は、ACCU 編集の実施報告書やホームページ等に掲載される。

- (1) 参加者報告書提出期限：12 月 27 日（金）正午

※プログラム中の成果とプログラムの経験や学びに基づくアクションプラン

- (2) 参加者は、ACCU から依頼されたアンケートや、その後の活動に関するフォローアップに協力すること。

8. 渡航費等諸経費

- (1) 中国政府が下記について負担する。

- ・中国国内の移動に要する交通費
- ・中国滞在中の宿泊費や食費
- ・プログラムの運営に必要な経費（通訳等）

- (2) ACCU が下記について負担する。

- ・日本（往路：羽田、復路：羽田）と指定された中国の国際空港間のエコノミークラス航空券
- ・日本国内交通費：オリエンテーション当日の会場までの交通費および帰国日の到着空港から自宅までの交通費の定額（ACCU の規定に準ずる）
- ・オリエンテーション②当日（出発前日：11 月 24 日）の宿泊
 - 注 1：復路の羽田空港は、変更の可能性あり。
 - 注 2：帰国当日中に居住地に到着可能な交通手段がない場合に限り、帰国当日（11 月 30 日）の宿泊費を支給する。
 - 注 3：本プログラムは所属機関を代表し、基本的に公務扱いでの参加となるため、日当は各所属先の負担となる。本事業からプログラム期間を通して日当は支給されない。

- (3) 各参加者の負担

- ・海外旅行保険料：プログラム期間中の万一の事故に備え、出発前に必ず各自の責任において加入しておくこと。
- ・中国現地で使える SIM カードやポケット Wi-Fi などを手配する際の費用
- ・査証申請のために旅券を郵送する際の費用
- ・上記（1）、（2）以外の諸経費

- (4) 旅券と査証について

- ・旅券（パスポート）：入国時に 6 ヶ月以上有効なパスポートが必要。
- ・査証（ビザ）：旅行会社にて一括で手配するため、旅券を 10 月中旬までに指定する宛先まで簡易書留で郵送すること。詳細は、参加者決定後に案内する。

9. 現地での使用言語

プログラム期間中は、日本語 - 中国語間の通訳を中国政府が配置する。

1 0. 申請書類・応募方法

参加希望者は、次（１）～（２）のとおり申請すること。

(1) 以下の URL から「参加申請フォーム」にアクセスし、必要事項を漏れなく入力する。 https://ws.formzu.net/dist/S3819543/ (2) 以下 A~C のファイルを、指定されたファイル形式で「参加申請フォーム」からアップロードする。 A. 応募者の写真データ(肩から頭上まで写っているもの) (JPEG) B. パスポートの写し (JPEG または PDF) C. 学校長または所属長の推薦状 (PDF)
アップロードするファイルに関する補足 A. 応募者の写真データ ・ファイル名を「写真(お名前)」にして JPEG でアップロードする。 B. パスポートの写し ・顔写真、氏名、旅券番号等が記載されているページをスキャン(または撮影)したデータとする。 ・ファイル名を「パスポートの写し(お名前)」にして JPEG または PDF でアップロードする。 C. 学校長または所属長の推薦状 ・指定様式「2024_推薦状フォーム.doc」は ACCU ホームページからダウンロードする。 ・推薦する教職員名、推薦する理由、交流実績、選考結果の連絡先等を明記し、<u>押印</u>の上、提出する。 ・ファイル名を「2024_推薦状フォーム(お名前)」にして PDF でアップロードする。 ・手書きの紙をスキャンしたデータは受け付けない。

1 1. 締め切り

2024 年 10 月 9 日（水）17 時

※締め切り後、提出資料等の確認が必要な場合にはメールで連絡すること。

1 2. 選考

応募者多数の場合は、提出された申請フォームをもとに選考を行う。

1 3. 結果通知

申請フォームに入力されたメールアドレス宛に 10 月 16 日（水）を目処に通知する。

※結果通知のため、確実に確認し連絡が取れる連絡先（Email）を入力すること。

1 4. 情報管理・その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で申請すること。

- ・オリエンテーションやプログラム期間中に撮影された写真等は、文部科学省、ACCU、中国教育部、中国教育国際交流協会の作成する資料やホームページなどの紙・電子媒体で随時使用、掲示・掲載される。
- ・参加者から提出される申請書類にある情報は、プログラム準備・運営のため必要に応じて文部科学省、在中国日本国大使館、中国教育部、在京中国大使館に共有される。
※情報は厳重に取り扱われ、本プログラム運営以外の目的で使用されることはない。
- ・参加者のアクションプランや教育実践については、ACCU のホームページ等に掲載され、教育関係者にも広く普及される。
- ・食事制限等がある場合、参加者の希望等にすべて添えない可能性がある。食べられるものをお持ちいただくなど必要に応じて各自対応すること。

- ・本事業への参加後に、アンケート調査等への協力依頼がなされる。

1 5. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部

担当：山本・蓮見

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL：03-5577-2853

Email： exchange@accu.or.jp